

問い合わせ先

第二管区海上保安本部

海洋情報部 専門官 木村信介

電話 022-363-0111 (内線2511)



平成24年2月22日

第二管区海上保安本部

震災後の測量により久慈港の海図を改訂

海上保安庁では、東日本大震災で被災した港湾について、水深の変化や海底の障害物の状況を把握し、航海の安全を確保するために、水深測量を行い海図の改訂を進めています。

久慈港（岩手県）では、昨年8月に測量船「天洋」により水深測量を実施しました。その成果を反映させて2月24日に海図を改訂します。

1. 東日本大震災により、被災した港湾では岸壁の崩壊、水中障害物の存在、水深の大きな変化など、海図の記載内容と現状に相違が生じています。海上保安庁では、航海の安全を確保するため、震災後の昨年8月に久慈港の航路や岸壁付近において、測量船「天洋」により精密な水深測量を行い、2月24日にその測量結果を海図に反映させる改訂を行います。

今回の水深測量で未測量の区域は、優先順位をつけて測量を実施し、順次海図に反映していきます。

被災港湾の海図を改訂する際には、震災前後の測量区域を明確に区別できるようにするため、新たに精度索引図を掲載しています。

なお、東北地方で被災した港湾の海図改訂状況は次のとおりです。

- ・改訂済みの海図

- 仙台塩釜港（塩釜区、仙台区）、釜石港、大船渡港、石巻港、八戸港

- ・2月24日に改訂を行う海図

- 久慈港、小名浜港

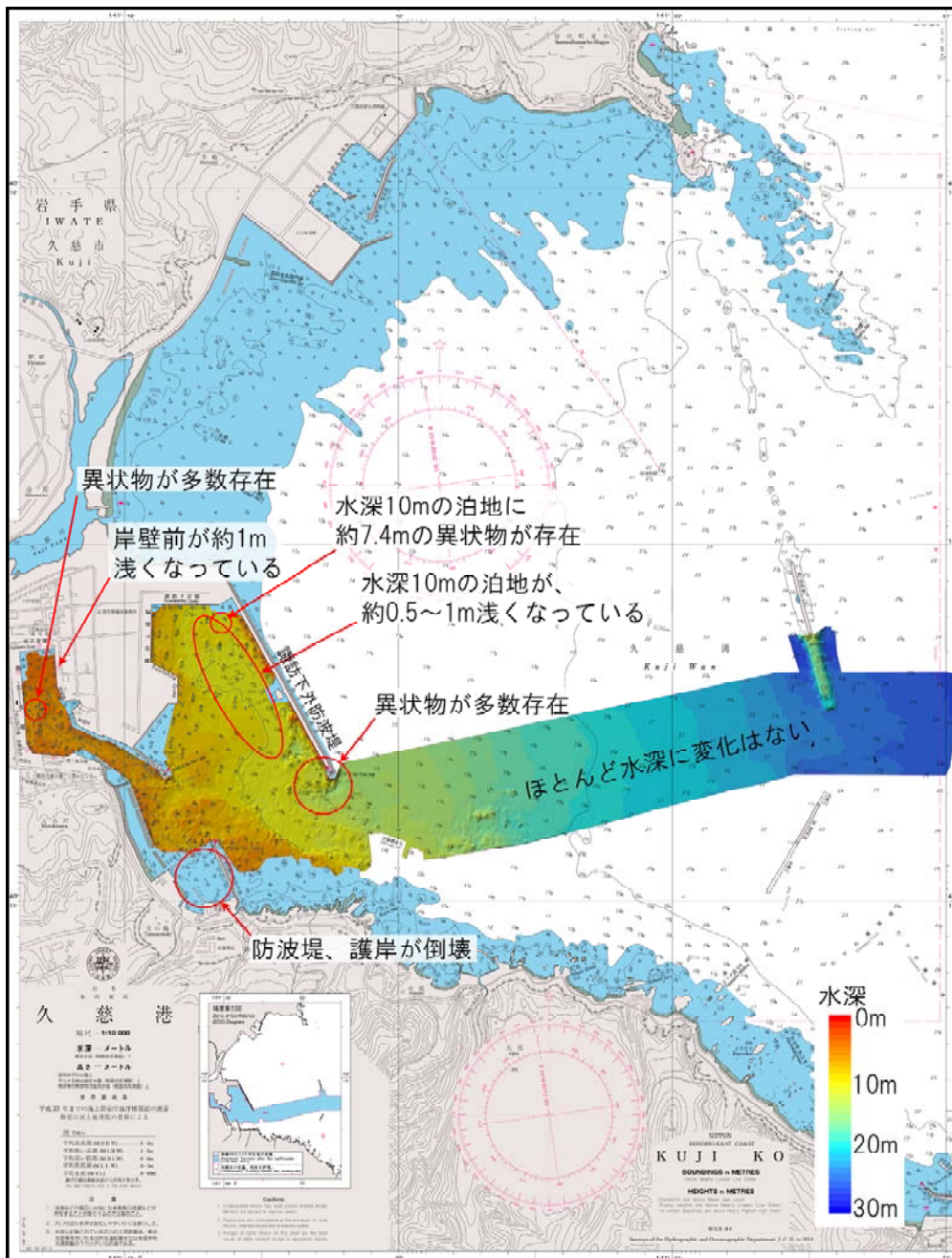
- ・今後改訂を計画している海図

- 宮古港、気仙沼港、相馬港

2. 久慈港の水深測量では、震災前と比べて以下の変化が確認され、海図に反映されています。

- (1) 諏訪下外防波堤の内側で、約0.5m~1m浅くなっている場所があり、異状物が多数確認されました。
- (2) 諏訪下外防波堤より外側では、水深の変化はほとんどありません。
- (3) 被害を受けた岸壁や防波堤は、海岸線を破線にして倒壊を示す「dest」の文字を記載しています。
- (4) 通常の実地とは異なる異状物が確認された確認された場所は、「#」や「Foul」の記号や文字で示しています。

久慈港の震災前後の変化

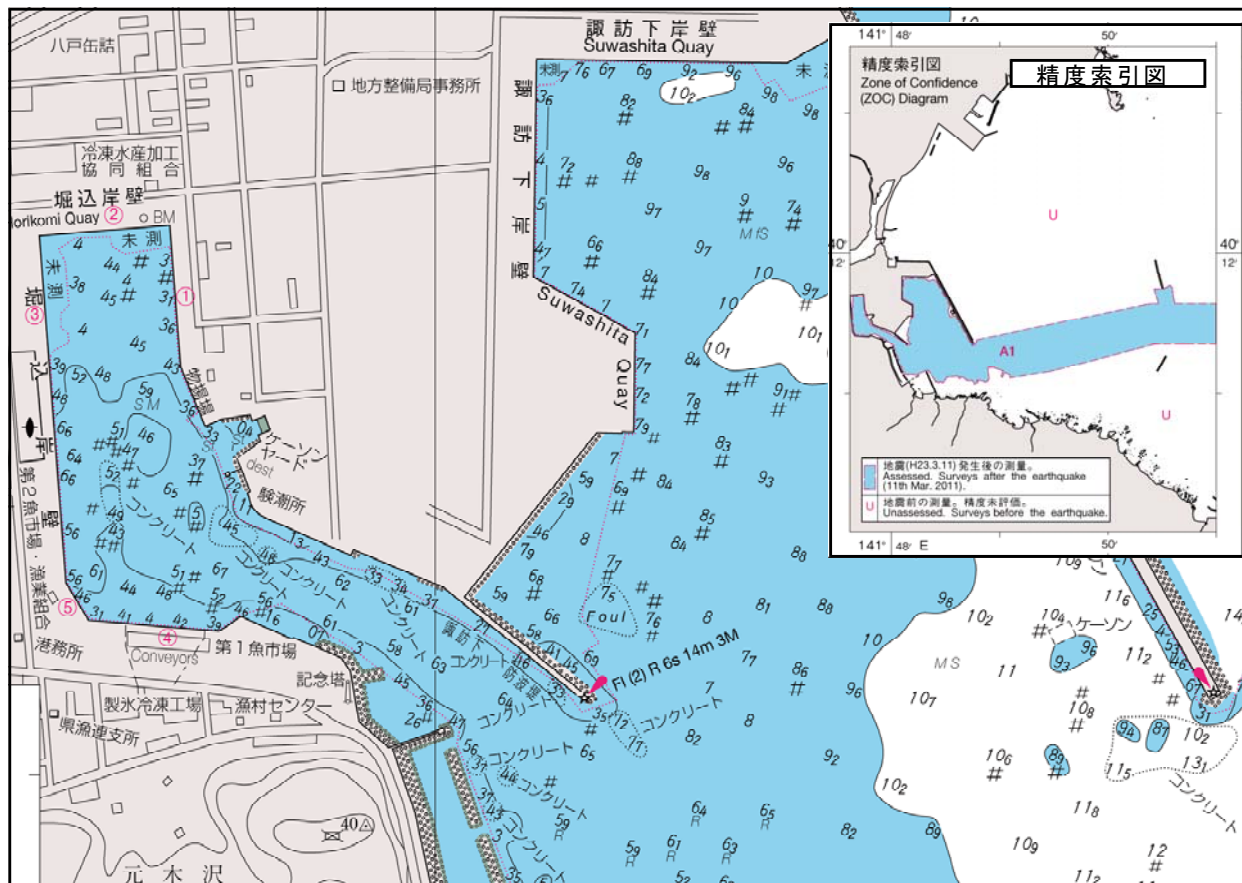


3. 海図の概要

海図番号	図名	縮尺	図積	価格(税込み)	発行日
W1080	久慈港	1/10,000	1/2* ¹	2,625円	平成24年2月24日

*1 図積 1/2とは、用紙の寸法が約77cm×54cmの大きさのもの

久慈港の海図（一部）と精度索引図



4. 海図は最寄りの水路図誌販売所及び取次店で購入できます。この販売所等については、以下のホームページ「海図の購入方法（水路図誌販売所）」や当庁刊行の水路図誌目録をご覧ください。海の相談室までお問い合わせください。

ホームページ <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KOKAI/ZUSHI3/default.htm>

海の相談室 電話022-363-0111（内線2511）